



Team石川



小中一貫CSだより第50号 令和2年5月22日 文責：千葉 敦
めざす子ども像(15歳の姿)：時と場に応じた挨拶・返事・言葉遣いができ、思いやりの心を持つ生徒

第1回学校運営協議会開催

5月13日(水)午後1時30分より、小学校体育館で第1回石川中学区学校運営協議会が開催されました。石川小学校会議室で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策として、体育館で委員同士の間隔を広く開けて行いました。



まず小学校千葉敦校長と中学校木村傑校長から、各委員及び地区コーディネーターへ任命書が交付されました。また会長には、昨年度に引き続き齋藤伸造様が選出されました。副会長も昨年に引き続き、小田桐尚輝様が会長から指名されました。続いて小学校長と中学校長から、それぞれの運営方針・いじめ防止基本方針についての説明がありました。また小学校長から、石川中学校区教育自立圏の実践計画と推進プランについて説明がありました。



今年度は、新型コロナウイルス感染症対策としてさまざまな学校行事が中止になったり縮小されています。小中合同の行事である環境整備や健康マラソンが、また地域の行事としても定着している小学校の大運動会が、中止となりました。コロナの収束が見えずに、地域のみなさまとの接点が少なくなっていますが、こんな時こそ、学校、家庭、地域が一丸となって、子どもたちの成長を見守ってきたいと思います。ご協力、よろしくお願いいたします。

◎令和2年度 石川中学区学校運営協議会 委員一覧 (敬称略・順不同)

市立石川公民館館長	齋藤伸造	小学校PTA会長	小田桐尚輝
地区町会連合会長	小田桐久	地区町会連合副会長	成田元春
中学校PTA会長	石川均	大沢児童館館長	小田桐伸一
青少年健全育成推進員	白取義人	石川こども園園長	小野ぬい子
地域コーディネーター	小田桐智恵	大沢保育園園長	成田真弓
中学校校長	木村傑	小学校校長	千葉敦
中学校教頭	山本正弘	小学校教頭	宮崎研也
中学校教務主任	後藤伸也	小学校教務主任	石郷岡修一

◎令和2年度 地域コーディネーター 一覧 (敬称略・順不同)

中学校担当	小田桐智恵	小学校担当	須藤真希
	工藤敏修		谷川富士子

◎令和2年度 今後の開催予定日

- | | |
|-------------------|------------------|
| 9月16日(水) 第2回(中学校) | 小・中学校の課題、教員の任用等 |
| 12月1日(火) 第3回(小学校) | 小・中学校の2学期の様子等 |
| 2月22日(月) 第4回(中学校) | 学校関係者評価、次年度運営方針等 |

令和2年度 第1回

石川小・中学校区小中一貫教育研究協議会開催

5月1日(金)に、今年度第1回目の小中一貫教育研究協議会が、中学校を会場に開催されました。本協議会は、石川中学区の小中一貫教育に係る取組や行事について協議するための、石川小・中学校教職員の自主的な研究会です。本来であれば、中学校の授業を参観する予定でしたが、コロナウィルス感染症対策として臨時休業となったため、部会毎の会議を中心に行われました。



各部会での協議内容と、今後の主な活動予定を掲載します。特別活動部会からは「フットワークの軽さが石川小・中学校の強み」というスローガンが出されました。そのフットワークの軽さを生かして、小・中の教職員が同じ目標(15歳の姿)に向かって協働で取り組んでいます。その活動内容をご理解いただくとともに、ご協力を賜るようお願い申し上げます。

◎各部会の主な協議内容

部会	申し合わせ事項の確認	課題の確認
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 各校の校内研修や講演会は、お互いに参加するだけ参加する。小は9月、中は12月 8月合同研修は、特別支援教育に関する講演会を実施する。 学習の「めあて」は青、「まとめ」は赤で囲む。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力の定着に向けて、視覚に訴える授業を展開する。 学習意欲の向上のために、「石川スタンダード」を基盤に、自己有用感を持たせる授業を展開する。
生活・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> 秋の引き渡し訓練では、昨年の反省を生かして、駐車場や受付、児童生徒の待つ隊形などについてさらに工夫する。 長期休業明けの挨拶運動には、JUMP チームとリトル JUMP チームも参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校では、携帯電話等持込み原則禁止と個別対応を再確認した。 中学校では、スマホやタブレットの使用について継続的な指導が必要であることを確認した。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 小中の行事を、お互いの職員が努めて参観し合う。 小学校計画委員と中学校生徒会役員は、交流の活動(合同ボランティア等)をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康マラソンを、体育委員会主体の行事にしていく。 合同マラソン記録会も、体育委員会の活動場面を増やす。
特別支援	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画は、様式は統一しないが共通の内容を記入する。 タブレットを活用する。小では主にアプリを、中では主にネットを利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中交流学習は、チャンスがあれば実現したい。 小学校の段階で、将来の進路を見通した指導が課題である。

◎今後の活動予定

- | | | |
|-----------|----------------|-------------------|
| 8月19日(水) | 午前 第1回小中合同研修会 | 午後 第2回小中一貫教育研究協議会 |
| 11月19日(木) | 第3回小中一貫教育研究協議会 | |
| 1月8日(金) | 第2回小中合同研修会 | |